



いじめゼロ機

若松原中学校学校だより
第9号
令和7年10月10日
発行者 永井高穂



令和7年度スローガン 「挑み 鍛え 前へ」

上記QRコードより、「若松原中学校」ホームページもご覧ください。

いじめゼロ集会 10/8 (水)

今年はいじめゼロ集会は、生活委員と学芸委員が放送で行いました。生活委員会からは、各クラスで考えたいじめゼロ標語を発表し、各学年で一つ標語を選び、その中から今年度の若中いじめゼロ標語を発表しました。



1学年

- 1 その言葉、命をなくすきっかけに
- 2 だいじょうぶ？笑顔をつくる魔法の言葉
- 3 「いじめだめ」にしているだけじゃ変わらない
- 4 行動にうつす前に考えよう考えて変わる
あの子の未来。私の未来。
- 5 思っても行動しないと変わらない
- 6 その言動その勇気で救える命がそこにある

2学年

- 1 あの子にはなれないしなる必要
「自分らしさを大切に」
- 2 いじめゼロ絶対しないいつまでも
- 3 いじめゼロみんなで止めよういじめゼロ
- 4 たくさんの人から「信頼」消えていく
- 5 気づいてよささいな言葉も受け手によっては武器になる
- 6 「やめて」という人の気持ちをくみとろう

3学年

- 1 「やめてよ笑」と笑顔の奥で泣いている
- 2 みんなでなろうよスーパーヒーロー
- 3 鋭い言葉 誰かの心に刺さり続けている
- 4 泣き顔を 隠しているかも その笑顔
- 5 戻らない 傷ついた心、それがいじめ
- 6 ストップ！ その行動は正しいの？

- 「やめてよ(笑)」と、
- 笑顔の奥で
- 泣いている。

3年1組 齋藤望乃さん

若松原中学校 いじめゼロ宣言

- 1つ 私たちは、いじめに対する意識を高め、嫌な思いをしている人がいたら、助けられる強い心を持ちます
- 1つ 私たちは、相手の気持ちによりそい、心優しい人になります
- 1つ 私たちは、感謝の言葉をすぐに言える人になります

生活委員長から

「いつもふざけあって、お互いに言い合っているのだから大丈夫」
「相手も笑っているし、気にしてないはず」などという軽い感覚をもっていないでしょうか。

『個人同士のいじり合いだったはずが、いつのまにかみんなにいじられるようになってしまう』そんな危険性がありふれています。

『目には見えない相手の気持ち』いじりを軽く考えないでください。いじりやいじめを無くすために・・・個人の自覚が一番大切・・・でもそれだけでは無理があります。

大切なことは・・・正しい思想や正義感を、みんなが発信！みんなで声を掛け合う！

その勇気と根気が必要なのです。安心感のある居心地のよい学校になるよう、みんなで努力していきましょう。

言葉は人なり

学芸委員から

言葉は生き物ですから、意味も日々変化します
でもちょっと立ち止まって考えたい。流行に



若松原中学校 学芸委員会
令和7年10月8日(水)
生徒朝会



流され、本来の意味を理解していないまま使っている…果たしてそれでよいのでしょうか。そして、「死ね」という言葉。どうしてこんなに軽く使うようになってしまったのでしょうか。ゲームで「死ね」や「殺してやる」が口癖になっているからかもしれません。テレビで芸人さんが軽いノリで言うからかもしれません。でも、その言葉の意味をよく考えてみてください。「シネ」とは、相手の存在を否定する言葉。例えば冗談であっても、言われた側は殴られたような強い衝撃を受け、心が深く傷つきます。「あまり考えないで言っしまいました」は、通用しないのです。あなたに、他人の命について、とやかく言う権利はないのです。



言葉に関する名言集

「あなたの使う言葉があなたの人生を操っている。」
(A.ロビンス)

「話す言葉によって、その人の価値は決まる。」
(G.バーナード・ショー)

「いつもニコニコして、いい言葉を使いな。それだけで
幸せになれるんだよ」(齋藤一太)

「あなたがかけた優しい言葉を、相手は一生胸に抱き続
けるだろう」(D.カーネギー)

避難訓練 10/2

今年度2回目の避難訓練を行いました。今回の避難訓練は、地震のあとの火災を想定した避難訓練でした。しかも、出火場所と出火時間については事前に知らせずに、緊急事態に遭遇した場合の対応について訓練しました。2と3時間の間の業間に、突然緊急放送が入り、地震のあと給食室から出火という想定で、生徒たちは、驚きながらも冷静にほとんどの生徒が真剣に取り組むことができました。校庭に避難し、その後、各自振り返りを行いました。放課後は、緊急時の集団下校の班に分かれて、方面ごとにまとまって下校しました。



1学期の反省 10/10

終業式で学年代表の生徒が、1学期の反省を発表しました。

1年生 塚本 大晴（つかもとたいせい）さん

学級委員として、クラス、学年として団結することの大切さを、学習では予習・復習の大切さ、計画を立てて勉強することの重要性を学んだ。2学期もメリハリのある学校生活を送るよう日々努力していきたい。

2年生 坂本 峻希（さかもとしゅんき）さん

学校行事や学年行事のリーダーとして頑張った。学習も意欲的に取り組めた。2学期は、仲間と協力すること、何事にも積極的に挑戦することを今まで以上に意識し、楽しく充実した学校生活を送りたい。

3年生 村端 咲紀子（むらはたさきこ）さん

学年の仲間と生活する中で、受験生としての自覚を持ち、勉強に意欲的に取

り組めた。また、2回目の学級委員長を務め、リーダーとして時間を意識した生活ができたことを自信にして、残り半年も充実した中学校生活にしたい。

全員が、2学期も目標をもって、前へ挑む決意を堂々と発表しました。